

## 第4回 教育研究評議会議事要旨

日 時 平成16年5月12日(水) 13:30～15:15  
場 所 事務局第1会議室  
出 席 者 17名(欠席者5名)

### 第3回 教育研究評議会議事要旨について

学長から、議事要旨(案)のとおり確認された旨、報告があった。

### 議 題

- 1 教員選考委員会の設置について  
機械系長及び環境・建設系長から、資料1に基づき説明があり、審議の結果、了承した。
- 2 実務訓練の履修に関する規則の一部改正について  
教務部長から、資料2に基づき説明があり、審議の結果、承認した。

### 教授会審議事項(平成16年度第2回(第313回)教授会)

- 1 技術開発センター非常勤講師(客員教授)の選考について
- 2 連携大学院非常勤講師(客員教授)の選考について
- 3 平成16年度非常勤講師の選考について  
学長から、資料3、資料4、資料5に基づき、上記事項が教授会(教授)で審議される旨、報告があった。
- 4 学位論文審査付託にかかる審査委員の氏名について
- 5 大学以外の教育施設における学修成果の単位認定について  
学長から、資料6-1、資料6-2、資料7に基づき、上記事項が教授会(拡大)で審議される旨、報告があった。

### 報 告

- 1 教務委員会報告
  - (1) 単位互換協定に基づく特別聴講学生の受入について
  - (2) 学術交流協定に基づく学生の受入について
  - (3) 大学院学生の研究指導の委託について
  - (4) 平成16年度実務訓練シンポジウムの開催及び当日の休講措置について  
丸山理事から、上記事項について、資料8、資料9、資料10、資料11に基づき、報告があった。
- 2 平成16年度学内予算配分について  
総務部長から、資料12に基づき、報告があった。
- 3 平成16年度科学研究費補助金配分内定状況について  
総務部長から、資料13に基づき、報告があった。

- 4 外部研究資金受入状況について  
総務部長から、資料14に基づき、報告があった。
- 5 「2004オープンキャンパス」の実施について  
教務部長から、資料15に基づき、報告があった。
- 6 国際協力機構の専門家等派遣に係る人件費補てん制度について  
総務部長から、資料16に基づき、報告があった。また、学長から、本学が補てんを受けた人件費については、国際交流に関する分野に充てる旨、説明があった。
- 7 COEプログラム博士課程入学生の受入について  
石崎副学長から、21世紀COEプログラムの特別枠で博士課程に入学する留学生については、授業料免除を特別枠で実施すること、及び同窓会の協力のもと入学料は同窓会から貸与し、入学後、毎月返還していくこととなった旨、報告があった。

## その他

- 1 年度計画について  
学長から、中期計画に係る年度計画については、別添の「年度計画作成学内手続きスケジュール」により作成する旨の説明があり、最終的には、6月11日（金）の役員会で決定し、6月14日の週に文部科学大臣へ提出する予定である旨の報告があった。
- 2 寄附金のオーバーヘッドについて  
学長から、本年4月1日から、①寄附金のオーバーヘッドについては、5%から10%に引き上げ、知的財産管理、特許出願料等に用途を拡大したいこと、②科学研究費補助金の間接経費については、管理費75%、教員25%の配分を、管理費50%、教員25%、当該教員の所属系長25%の配分に変更したいことの説明があり、審議の結果、これを承認し、併せて教授会に提案することを承認した。  
なお、技術開発センタープロジェクトについては、各プロジェクト研究経費（寄附金）から、間接経費として10%（但し、財団で徴収している事務費と合算した割合とする。）を徴収することを承認した。
- 3 JABEEの認定について  
学長から、機械創造工学課程プログラム（機械及び機械関連分野）及び建設工学課程プログラム（土木及び土木関連分野）でJABEEの認定を受けた旨報告があった。  
また、来年度以降、他系においてもJABEEの認定申請をお願いしたい旨依頼があった。
- 4 評価室の設置について  
学長から、本学の活性化のために、一元化された教員個人データベースを構築するために評価室を設置すること、メンバーは西口副学長及び系長等とし、今後評価項目、評価方法等について検討し、今年12月の期末・勤勉手当支給に評価を取り入れることとし、反映させたい旨の説明があった。併せて、今後、このことについて教員に周知していく旨、説明があった。
- 5 安全管理について  
学長から、法人化に伴い、労働基準局の管理下となり、系長を中心として、実験室、廊下等の整頓等安全管理に一層配慮するよう依頼があった。

## 6 学生指導について

学長及び西澤理事から、クラス担任制度が、1・2学年においては必ずしも機能していないことから、5月26日（水）にクラス担任を集めて、学生の指導方法等についての再確認を行い、今後、休・退学者の防止も含め、学生指導に力を入れていく旨、説明があった。

## 7 その他

- (1) 委員から、国費留学生の1名あたりの奨学金額を複数名に配分することの可否について意見があり、西澤理事から、現行の国費留学生制度の趣旨を踏まえることできない旨、説明があった。
- (2) 丸山理事から、大学院社会人留学生特別コースの入学試験で、国費枠に漏れた者については、私費での希望者がいる場合は、本学で民間団体の奨学金を斡旋する等、資金面でフォローをしていく予定である旨、説明があった。

以 上